

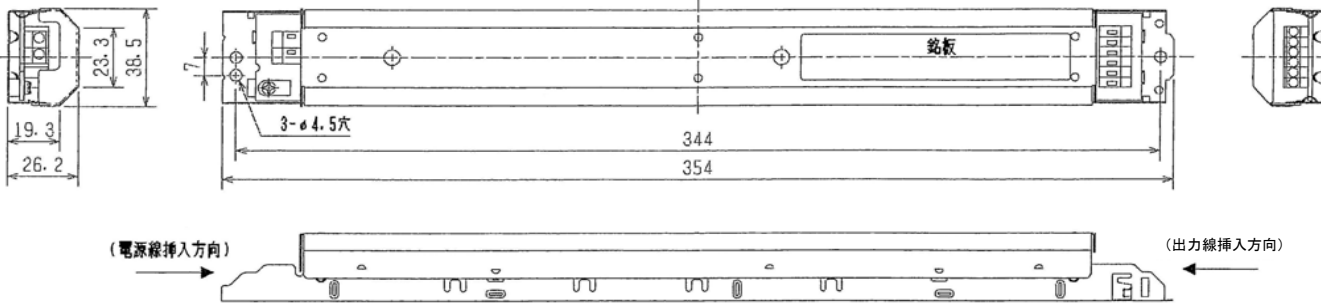
蛍光灯電子安定器 FHF32定格出力(32W) 1灯用 AC100-254V 器具内用

使用区分	器具内用（器具外での使用禁止） 屋内設置型器具用（屋外で使用する器具には使用できません） 日本国内用（日本国以外での使用は保証できません）				
使用環境条件	器具周囲温度、湿度 5°C～35°C、35%RH～80%RH 結露しないこと				
適合ランプ	FHF32	FL40SS/37	FL40S	FLR40S	FLR40S/36
定格入力電圧、定格周波数	100V～254V, 50/60Hz				
入力電圧範囲	94V～270V				
定格入力電流	0.347A～0.135A	0.306A～0.119A	0.316A～0.123A	0.316A～0.123A	0.296A～0.115A
定格入力電力	34W～33W	30W～29W	31W～30W	31W～30W	29W～28W
力率	高力率				
定格二次電流	0.225A	0.225A	0.225A	0.225A	0.225A
定格二次電圧	280V（無負荷、入力電圧254V時）				
二次短絡電流	0.260A				
光出力係数	0.95(定格出力32W比)	0.74	0.74	0.74	0.74
入力突入電流	5A _{0-p} (4ms)				
絶縁階級	E種				
絶縁抵抗	充電部一括とケース間にて100MΩ以上(冷間)DC500Vメガー				
耐電圧	充電部一括とケース間にて電圧1600V, 1分間(零電圧位相スタート)				
入力電流歪み	JIS C 61000-3-2 適合				
適用規格	電気用品の技術上の基準を定める省令別表第六				
質量	0.30kg				

注意事項

- 悪環境（腐食性ガスの発生する場所、塩水や油のかかる場所、粉塵の多い場所、引火する危険性のある場所、振動する場所等）では、使用しないで下さい。
- D種接地して使用して下さい。
- 器具組込みでの雑音、漏洩電流、ランプ始動性能を充分確認して下さい。器具内配線の長さや配置等の影響を受けることがあります。
 - 電源線と出力線は離して下さい。
 - 一つの器具に複数の安定器を内蔵する場合、互いの安定器の出力線を離して下さい。
 - 出力線は極力短く配線して下さい。長いものでも器具の最大辺長以下として下さい。
 - 端子3、4に接続される出力線を短くして下さい。
 - 出力線はシールドしないで下さい。
- 器具組込みで各部位の温度を充分確認して下さい。
- ランプ交換時や無負荷時等に、ランプピンやソケットに人体や器具板金が接触すると、感電や地絡を起こす可能性があります。器具構造により防止できるように配慮して下さい。
 - 例) ランプの一方のピンがソケットに挿入された状態で、他方のピンが器具板金等に接触しないようにする。
- 押し当て式ランプソケットを使用する場合は、端子3、4側に固定ソケット、端子5、6側に可動ソケットを使用して下さい。
- 安定器のケースと器具板金に確実な電氣的導通が確保できるよう、安定器固定用ねじには歯つき座金を用いるなど、器具板金塗装を破る手段を施して下さい。
- 半導体部品を使用しておりますので、器具組立工程の静電気対策を充分実施して下さい。
- 落下等により衝撃を受けた安定器は使用しないで下さい。
 - 端子部に必要以上の力を加えないで下さい。また、口出し方向に配線を引っ張らないで下さい。
 - 必ず適合ランプと組み合わせて使用して下さい。
 - 安全のためランプ交換やお手入れは電源を切ってから行なって下さい。
 - 無負荷状態やランプ寿命末期での通電放置や電源入切りは避けて下さい。故障、感電、地絡の原因となります。
 - 寿命を迎えたランプが装着されていると点灯しません。
 - 周囲温度が低い場合、点灯中に移動縞が現れることがあります。
- この安定器の電源遮断後の電源端子間残留電圧は1分後45V以下です。

外形寸法図



参考用図面

製品仕様図

型番		コード番号	
FIK10CMF032N-L33ND		06543302	
承認	査閲	作成	仕様書番号 MA-T2-69138 仕様書紙数 12 個別番号 3 付-1
溝邊	福田	小林	作成日 2011.8.12
NECライティング株式会社			

接続図



電線接続上の注意点

接続方法	被覆剥き長さ	電線導体径	挿入力
速結	9.5±0.5mm	φ0.8及びφ1.0の単線 0.5mm ² 及び0.75mm ² のはんだ揚線 (はんだ仕上がり径φ1.4以下)	挿入方向に 10N以下